



研究テーマ

1 音楽表現実践研究(主にサクソフォン、ピアノ等による演奏実践と作曲)

2 音楽表現実践研究を基盤とした音楽の学びのイノベーション



酒井 勇也

さかい ゆうや
教育学部
音楽教育
音楽科教育

講師

キーワード

音楽教育, サクソフォン, 吹奏楽, ピアノ, 演奏実践, 指導法, 演奏会, アウトリーチ, ワークショップ, 作曲, DTM, ICT, 教材開発, 音楽科, 部活動, 遠隔地, 学びのイノベーション

特許情報・
共同研究・
応用分野など

<共同研究>
・宮大出張コンサート in 西都他

<科研費>
2021年度-2025年度科研費若手研究「遠隔地をつなぐ音楽表現活動の教材化による音楽科の学びのイノベーション」(研究代表者)

<審査員>
・鹿児島県高等学校音楽コンクール木管楽器部門

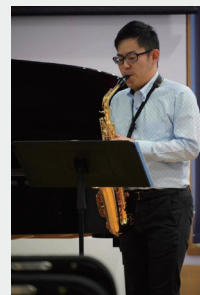
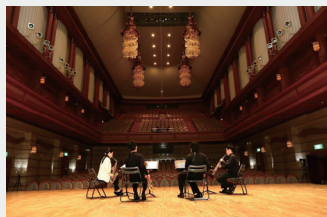
研究概要

サクソフォン、ピアノの演奏や作曲等を中心とした音楽表現実践研究をベースに、学校や社会における音楽の学びのイノベーションに取り組んでいます。現在は、特に科学技術を活用した遠隔地をつなぐ音楽表現活動に焦点をあてて研究を進めています。

1 音楽表現実践研究(主にサクソフォン、ピアノ等による演奏実践と作曲)

サクソフォンやピアノ演奏を中心に、演奏技法、作曲技法、作品群等に関する調査や実践研究をおこなっています。

バロックから現代に至るまでのいわゆるクラシック音楽(特に近現代)を中心に、世界の諸民族の音楽、ポピュラー音楽等、様々な音楽を対象に考察を深めています。最近では、特に、アコースティック楽器と科学技術(例えば遠隔合奏、電子楽器、サンプリング、ライブ・エレクトロニクス、ライブ配信、多重録音、ボーカルシンセサイザー、DAWソフト等)の双方をうまく活用した音楽表現を中心に調査を進め、演奏実践や作品創作に取り組んでいます。



2 音楽表現実践研究を基盤とした音楽の学びのイノベーション

1の音楽表現実践研究で得られた成果をベースとしながら、教材開発、授業実践、教員研修、音楽実技指導、音楽イベントの開催等に取り組み、これからの音楽の学びの在り方について考察を深めています。最近では、特に、ICTを活用した実験的試みとして、遠隔地をつなぐ音楽表現活動(例えばリアルタイムでの遠隔合奏)を用いた実践研究に取り組んでいます。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

- ・器楽や合奏の指導, 特にサクソフォン・吹奏楽・ピアノ
- ・ICTを活用した音楽学習
- ・学校や地域を対象とした研修, ワークショップ, 演奏等

メッセージ

・音楽関連の研修(特に音楽科におけるタブレット端末の活用等)や、ワークショップ・演奏会等の音楽イベントの開催を検討されている場合は、ぜひお声がけください。